2022年6月2日　東京土建板橋支部

拡大総括会議

１、春の拡大到達点

春一番の目標4.0％　190人　成果203人

春本番の目標4.0％　198人　成果208人

合　計　8.0％　388人　成果411人

超過達成の分会：8　　（昨年8）（一昨年8）

目標達成分会　：16

2022年6月1日現勢　　　　4,900人　（昨年5,001人）

分会目標達成

全分会

拡大3賞

拡大数：徳丸分会　拡大率：坂下分会　実増率：坂下分会

❀達成分会＝16分会　19年連続全分会目標達成❀

２、特徴と教訓

**2-（1）全体的な特徴**

春の月間は、仲間に向き合い寄り添う行動で組合の存在を大きく示し、訪問行動での直接対話が組合員との信頼をより深める月間となりました。

仲間の窮状を聞き取る行動を最後まで追求し、有力対象者を最後まで追い続けてきました。法人・個人問わず「事業復活支援金」の相談が定期的に寄せられました。「土建で支援金の相談できる」と聞いて未加入の対象者（若木分会）が組合へ加入しています。事業所にはメリット袋の健診チラシを活用して呼びかけ、まとまった健康診断の問い合わせで加入にもつながっています。

各分会の取り組みでは組合員訪問・対話による対象者掘り起しと、チラシポスティングを積極的に行ってきました。特にメリット袋の「事業復活支援金」について周知をすすめ、数多くの問い合わせが支部に寄せられました。困った仲間の声に寄り添う行動に取り組めた結果ともいえます。また、大口の有力対象者を抱える事業所に何度も訪問し行動日に加入につなげて目標達成をした分会（志村坂上）や分会長が率先して日中の行動（仲宿、舟渡高島）、新設法人を日中に訪問（徳丸）、追加でチラシポスティング行動を日曜行動にあわせて行う（新赤塚）もありました。仲間の紹介で対象者を訪問行動で訪問し「区の保険よりも6,000円も安くなるので早く入ればよかった」と訪問したその場で加入手続き（蓮根）するケースもありました。

支部では事業所訪問、宣伝カー行動、チラシ折込、脱退者へのDM発送・電話かけ等、LINE友達登録者への情報発信を行いました。

最終盤では、法人設立の相談の中で従業員に健診・資格・共済を利用させたいと有力対象者3名が加入（上赤成増）、従業員の入社にあわせて健康診断を利用させたいと2名が加入（徳丸）など、有力対象者を継続して訪問・対話することで最後まであきらめずに追いかけ続けることで全分会目標達成を追求することができました。

**1)立て看板行動とチラシポスティング行動**

4月看板行動では立て看板と拡大ポスターの張り出し行動に取り組みました。いつも立ててる場所以外に新たな設置場所を求めて取り組みを進めた分会（新赤塚）もありました。引き続き、新たにポスター張り出し・チラシポスティングに協力してくれる組合員さんを発掘していきます。

**2)組合員訪問**

訪問行動については、コロナ感染対策をしたうえで、「元気の出るたまご」、月間の後半では「ボックスティッシュ」、「ウエットティッシュ」も活用し組合員訪問に取り組んできました。新型コロナウイルスの仕事・くらしの影響を聞き取り仲間に寄り添った行動をすすめています。事業復活支援金などで対話を進め、仲間を取り残さない訪問行動と位置づけ取り組みを強めました。

**3)チラシ新聞折込など宣伝活動**

今年は、3月下旬（区内全域）、5月中旬（重点地域）に新聞折り込みで組合チラシを折り込みました。また、脱退者へジャンボはがき3月下旬に発送しました。DMを見た方から「一人親方労災に入ろうと思ってた」と加入につながりました。（上赤成増）あわせて分会でもチラシポスティング行動に取り組みました。

**4)宣伝カー現場宣伝行動**

宣伝カー行動を4月、5月は2日間取り組みました。女性の会の協力のもと1回あたり平均15現場を訪問。あわせてチラシ設置の協力を呼び掛けています。現場に人がいない・作業中で手が離せないなど、職人さんと直接話をする機会が作れずに苦労していますが、現場の状況をつかむためにも最大限の取り組みを行っています。一方、コロナの影響も徐々に落ち着きが見え始め、動いている現場が増えてきていることから今後も継続して取り組みを進めていきます。

**5) 事業所訪問**

4月は板橋区内の事業所を中心に3日間訪問しました。

5月は板橋区内に加え、板橋区外にある支部所属の事業所を4日間で訪問しました。メリット袋やボックスティッシュを渡しながら事業復活支援金、健康診断、支部開催講習会、火災共済の案内をしました。「6月の日曜健診を利用したい」という事業所から加入もあがりました。

**6)青年部、イキイキ会、女性の会　　すべてパーフェクト達成！**

青年部：目標6に対して6名の加入で超過達成となりました。5月26日の部会とあわせて拡大行動を実施。当日は4名の部員が参加し、部員の所属事業所従業員に声をかけて当日2名の加入者があがりました。

イキイキ会：イキイキ会の春の拡大目標は支部のシニア世代（65歳以上・1092人）の2％＝22人です。分会のイキイキ会会長に65歳以上の未加入の対象者名簿を郵送し、群会議や自宅でそれぞれ、会員拡大に取り組みました。5月24日（火）に行動・集約日としてイキイキ会三役と分会の会長12人が集まりました。当日持ち寄りの加入もあり、32人の会員を拡大しました。その後1人の拡大があり、計33人の拡大で会員数587人となりました。

女性の会：目標40名に対して47名の成果で超過達成となりました。専門部課題での事業所訪問や、各分会で女性の会拡大の呼びかけを進めることで全分会からの成果があがりました。分会別の成果数は資料ご参照ください。

３、月間の教訓

仲間に寄り添う春の拡大月間は全分会目標達成をやりとげ19年連続目標達成となりました。春は、仲間の生活や仕事が危機的な状況にさらされている中、仲間の声、建設従事者の声をくみあげ、労働組合の存在を大きくアピールしてきました。新加入者の仲間にも積極的に訪問を行い、新たな対象者がいないか聞き取りを進めてきました。

訪問行動では、国の支援金制度（事業復活支援金など）を広める対話を中心に行いました。訪問翌日に事業復活支援金の相談が寄せられるなど、仲間の窮状に沿った行動が取り組めました。組合員から要望の多いフルハーネス特別教育を支部開催講習で実施しました。今後も全組合員訪問を行う中で、組合員一人一人に寄り添い脱退防止にも力を注ぐとともに仲間に東京土建を広めてもらい、未組織従事者を組合に迎え入れるよう取り組みを進めていきます。

４、分会の特徴的な行動

**各分会からの報告をお願いします。簡潔にまとめて2～3分程度で。**

**①訪問行動の取り組み方**

**②行動参加者について**

**③その他良かった点**

**④反省点など**

**大山分会から報告をお願いします。（大山分会、仲宿分会の順で上赤成増分会、青年部、イキイキ会、女性の会）**

----------------------------------------------------------------------

春の拡大行動報告書が未提出の分会はFAXにて提出をお願いします。

ブロック会議までに集約を行い、6月の組織部会で確認をします。

6月執行委員会　重点項目

1. 仲間の交流・学習を深め強固な組織づくり

組合運動の原動力となる「群・分会組織強化」「青年後継者世代の育成強化」「未結集事業所の組織化」を柱に、継続発展的な取り組みにしていきます。住宅デーや学習会、分会行事などの取り組みの中で交流を図りましょう。

1. 仲間の要求実現の運動をさらに大きく

建設労働者から家族の生活を守る運動まで各専門部の課題を連携させて取り組みを進めていきます。住宅デーをはじめとする地域活動と仕事確保・地域自治体制度の拡充や国保予算要求ハガキ運動で社会保障拡充の運動に取り組んでいきます。仲間の「仕事」「生活」「命」を守り要求を実現させるために、組織拡大・強化を土台に各専門部の運動を発展させていきます。

組織部

**１、6月１日組織人数本部登録**

5月の本部登録と臨時登録で、6月1日の組織人数は4900人（昨年101人減）になりました。5月１日現勢から84人増（昨年75人増）でした。加入者の特徴は春の拡大を参照。

転出・脱退者は56人（昨年60人）で、内訳は、滞納・分会報告8、退職15、仕事やめた2、死亡7、メリットなし1、その他4、短期（健診、資格etc）19でした。

**２、６月の活動について**

①広告宣伝活動

* 宣伝カー行動は6月2日間予定

②分会６役会議、分会執行委員会、群会議などで参加者に群会議の話題や拡大について声をかけ、対象者を出し合ってください。春の拡大で残った対象者、前に声をかけたが断られた人などを整理して再度声をかけてみてください。春の時は「まだいいけど」と断られても、公営国保料の通知などで状況が変化しています。

**３、６月新加入者の定着・拡大月間中の対象者への呼びかけについて**

①群会議への参加の呼びかけをつよめます。

1. 群まかせにしないで分会役員が協力して、フォローしてください。
2. 新加入者への住宅デーや分会行事などへのお誘いも丁寧に進めて下さい。
3. 拡大月間中の対象者で6月以降に加入するという方の加入を忘れないよう声かけをお願いします。

**４、夏（7、8月）拡大について**

　年間実増をする上で6月～8月の組合員数を減らさないで、秋の拡大月間へ突入することは、7月・8月の拡大・準備を成功させる必要があります。具体的な取り組みは6月の組織部会で確認後、7月に提案します。

**行動日（予定）：**

**7月8～20日の間で会議とは別に１日、8月1～8日の間で会議とは別に１日**

**5、その他**

①組織部・事業所対策合同部会

　【日時】6月10日（金）10時～

【場所】本部

【対象】組織部長、事業所対策担当役員、組織部担当・事業所対策担当から代表1名又は主任書記

②次回の部会

6月24日(金)19時半から　支部会館

**４、今後の課題**

1. 分会六役と支部役員オルグの連携
2. 訪問行動での「組合員対話」の充実
3. 訪問行動参加者の固定化

拡大行動日に集まるのは少数の役員という分会もありました

1. 「話し合いの出来る群会議」開催。日頃の群会議で仲間への声かけが、厳しい情勢の中での拡大行動で大きな力になります。
2. 拡大の意義と目標達成

今後も拡大の意義と目標の追及していきましょう。

1. 訪問履歴リストの活用

**５、新加入者の定着について**

①新加入者への「群会議連絡」の電話かけ

群会議の連絡のための電話は、群長さんまかせにしないで、分会六役が責任持つように徹底をはかります。電話は会議の直前・当日でなく一週間前と2～3日前に再度おこなってください。また今年一年間に加入した方の名簿を渡しますので年末拡大での声かけをお願いします。

②火災共済をはじめ多面的な業務利用の推進などとりくみを強化します。

**６、年末拡大と準備について**

　板橋支部は11月1日現勢5＿＿人となりました。2020年新年を5000人でむかえるように次の取り組みをお願いします。

①12月の拡大は例年通り「春一番拡大」の成果としてカウントします。

②拡大月間であたりきらなかった対象者などを整理して12月の拡大へ向けて準備をお願いします。

③12月の統一行動（年末拡大）については今月の組織部会で決めていきます。詳細は12月に提案します。

④事業所訪問は11月は3日間行います。

⑤宣伝カー行動は11月に2日間行います。

11月の組織部会は＿＿日(＿＿)19時半から行います。

１．11月1日組織人数本部登録・9月の拡大について

秋の訪問行動の各分会の頑張りで116人（昨年55人）の拡大成果がありましたが、脱退・転出が68人（昨年43人）で10月1日現勢は**4990人**（昨年4957人）となりました。

加入理由は、国保17、健診56、年金10、労災7、共済1、仲間3、相談20（複数回答）と、年金の同時加入が目立ち、健康診断の理由も多いのが特徴です。雇用調整助成金の相談で加入につながるケースもありました。ネットから問い合わせは定期的にあり、9月は3件あり、そのうち2件が加入につながりました。どけんラリー当日には4分会5名の加入がありました。

脱退理由は、「健診」24人、「滞納・分会報告」12人、「転職・退職」18人、「メリットなし」人、「社保へ」2人、「他土建へ」2人、「死亡」4人、「他国保へ」2人、「その他」2人でした。

２．拡大総括会議

11月2日に文化会館にて拡大総括会議を行いました。当日は合計52名の参加で各分会から秋の拡大月間の取り組みについて経験報告を行いました。

３．分会の特徴

大山：18:30からと19:30からの2チームで訪問している。訪問先は書記長が事前に決めておくようにしている。

　仲宿：必ず2班以上で訪問する。訪問履歴リストを活用して同じところを訪問しないように注意した。

大谷口：夜の行動は18時からやっている。10件程度を訪問。

大谷口北：組織部長を中心に訪問している。10月からは2チームで訪問するようにした。

　中央：当初の行動日で行動できなかった日があったが代替日を設けて対応した。1チームで平均4件訪問している。

　氷川：行動の参加者が少ないのが課題。新入社員が入って成果があがった。

　若木：相変わらず参加者が少ないがオルグの役員の力を借りて訪問を進めてきた。地域の事業所から成果があった。

志村坂上：加入2年以内、子育て中心に訪問している。群長にも参加を呼び掛けてその日は群長の群をまわった。

前野中台：早めに達成することができても、行動をして対象者を探しつづけた。

　坂下：訪問行動は運動会のお誘いをしてきた。その結果、例年より運動会の参加者が増え優勝できた。

　蓮根：4～5人で2班作りまわっている。組織部長が訪問先を決めている。訪問件数はとにかく多くまわった。

舟渡高島：日曜は3～4班作って回る。子育て中心に訪問。行動参加者は平均10名。組織部長を中心に行動。

徳丸：対象者が出て、10月なかばには達成のメドがついた。行動は2チーム以上で訪問。19時に早めに集まって訪問先を検討。若手の行動参加者もでてきており、ベテラン役員さんがサポートしてやっている。

新赤塚：組織部長、財政部長を中心に行動。行動日が中止になることもあった。もう少し行動参加者を増やしたい。

上赤成増：行動参加者は4人で1班で回る。仲間の紹介で対象者があがる。訪問履歴リストは行動終了後に記入して次回の行動に活用できた。